

展覧会

特別展

ジョルジョ・モランディ — 終わりなき変奏 —

開催中～2月14日(日)

20世紀イタリアを代表する画家ジョルジョ・モランディ(1890-1964)。日本では17年ぶりとなる待望の個展を開催中です。壺や容器など限られたモチーフを繰り返し描き続け、構図の研究を通して自己の芸術を追求したモランディ。その真骨頂ともいべき同一モチーフによるヴァリエーション=変奏に焦点をあて、画家が生涯をかけた終わりなき探求を紹介します。

関連イベント

■学芸員による解説会

2月6日(土) いずれも16:00～(約60分)
レクチャールームにて 聴講無料(定員100名)

■ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日 11:00～(約15分)
レクチャールームにて 聴講無料(定員100名)

次回特別展

1945年±5年 激動と復興の時代 時代を生きぬいた作品 5月21日(土)～7月3日(日)

本展は、1940年から50年までの間に制作された美術を展覧します。1940年代は、前半がアジア・太平洋戦争の時代、後半が連合国軍によって占領された時代です。このような激動の時代を大きく反映した作品もあれば、時代から一定の距離を取った作品もあります。様々な美術家の活動を、洋画を中心に、素描、日本画、彫刻も加えて紹介します。



池田栄治《国土畫》1942年

県美プレミアム

開催中～3月6日(日)

館外作品を中心とした小企画展 奇想の版画家 谷中安規展 蔵出し!M氏コレクション

激動の昭和初期、独自の幻想的ビジョンを木版に刻み続けた鬼才・谷中安規(1897-1946)。長年、その研究と収集に情熱を燃やし続けたM氏による珠玉のコレクションを、蔵出し初公開。当館と京都国立近代美術館の収蔵品を加えた約170点を一堂に展示中です。



谷中安規《少年礼賛》1937～39年頃 M氏コレクション

収蔵品によるテーマ展 ハンガ・オンパレード 版画大行進!

「谷中安規展」に関連し、当館の版画コレクションから厳選した名作を、「日本



ケーテ・コルヴィッツ《犠牲(木版運作「戦争」より)》1922年

編」と「海外編」の2つのパートに分けて紹介しています。また、洋画・日本画のコレクションから谷中安規と同時代の作品や時代を超えて共通点のある作品をピックアップしたコーナーを設けています。

関連イベント

■こどものイベント

「彫ってみよう! 摺ってみよう! 木版画教室」
2月27日(土) 10:30～15:30
アトリエ2にて 要事前申込・要実費・定員30名
※詳しい情報は巻末の「こどもプログラム」欄をご覧ください。

■学芸員によるギャラリートーク

2月20日(土) 15:00～(約45分)
1階常設展示室にて 聴講無料(要観覧券・定員なし)

■ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

会期中の金・土・日曜日 13:00～(約45分)
エントランスに集合 参加無料(要観覧券・定員なし)

次回県美プレミアム

3月19日(土)～6月19日(日)

小企画 中西勝展 — 兵庫県所蔵作品を中心に

大阪に生まれ1949(昭和24)年から神戸に住んだ中西勝(1924-2015)は、2015(平成27)年5月に没するまでの長きにわたり、兵庫県の美術のみならず芸術・文化の中心的人物であり続けました。本展は、没後ほぼ1年を経るにあたり、豪胆と繊細を併せ持ったユニークなその人柄と60年間余の画業を偲んで開催するものです。主に、生前中に兵庫県と当館が作者から受贈した作品によって、画業の変遷とその芸術の本質を探ります。



中西勝《無題》1949年

特集 黒の展覧会(仮称)

特集展示では、黒色をめぐるさまざまな表現を当館の所蔵品からピックアップしてご紹介します。作品の中で黒色が担う意味や、造形にどのような視覚的効果をもたらしているのか、また、さまざまな媒体による黒色の違いなどに注目ください。

関連イベント

■ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー
会期中の金・土・日曜日 13:00～(約45分)
エントランスに集合 参加無料(要観覧券・定員なし)

イベント

エントランスホールでのコンサートや名画上映会をはじめ、館内のさまざまな空間を使って有料、無料のイベントを多彩に展開します。

ミュージアムコンサート

■美術館の調べ

2月6日(土)
見掛綾子&藤瀬牧美
デュオコンサート
～クラリネットとピアノの調べ～



見掛綾子 藤瀬牧美

<演奏曲目> ブラームス「クラリネットソナタ第2番 op.120-2 変ホ長調」/ブッチェーニ「ジャンニ・スキッキより『私のお父さん』」ほか
<出演者のひと言> 優しいクラリネットとピアノの音色で、寒さを吹き飛ばすような温かい時間を皆様

と過ごせたらと思います。◎見掛綾子(クラリネット)。大阪音楽大卒業。卒業後3年間、同大学助手)◎藤瀬牧美(ピアノ)。大阪音楽大卒業。2人は2013年に大阪音大同期生としてコンビを組み、兵庫県民会館ロビーコンサートをはじめ、芦屋病院マチネーコンサート、芦屋市福祉センターエントランスコンサートなど様々な場所で活動
エントランスホールにて 14:00～ 無料

■美術館の調べ

2月13日(土)
藤田菜央 ピアノリサイタル
<演奏曲目> モーツァルト「ピアノソナタ第18番ニ長調KV.576」/ショパン「2つのワルツ 作品69」/舟歌 作品60)ほか
<出演者のひと言> 私にとって初めてのソロリサイタルです。みな様に感謝し、心を込めて演奏します。
◎藤田菜央(ピアノ)京都市立芸術大ピアノ専攻4回生
エントランスホールにて 14:00～ 無料



藤田菜央

■美術館の調べ

2月20日(土)
池田瑞穂 ♪ 加藤あや子
デュオリサイタル
<演奏曲目> ポツケリーニ「ソナタ No.6 長調」/ラフマニノフ「チェロソナタ」ほか
<出演者のひと言> チェロの名曲をお届けします。深く優美な音色で心がほっこり温まるひと時をお過ごしください。◎池田瑞穂(チェロ)。ベルギー王立ブリュッセル音楽院を経てベルギー王立モンス音楽院修士課程を卒業。和歌山音楽コンクール、長江杯国際音楽コンクールにて奨励賞受賞)◎加藤あや子(ピアノ)。相愛大卒業、デュッセルドルフ国立音楽大大学院修了。大阪教育大准教授
アトリエにて 14:00～ 無料



池田瑞穂 加藤あや子

四季シリーズコンサート<冬>

2月21日(日)
春へのあこがれ
～アンサンブル・マリーズ フルートコンサート～
<演奏曲目> モーツァルト(アンデルセン編)「フィガロ・ファンタジー」/三浦真理「ファンタスティック・モネ」/ヴィヴァルディ「四季より『春』」/ルドウィグ「4つの春」ほか
<出演者のひと言> ピッコロからバスフルートまで4種類の様々なフルートを駆使して爽やかなサウンドをお届けします。◎Ensemble MARY's(アンサンブル・マリーズ) = 林美保、堀古昭子、原田利佳、安川優子。2003年結成)
アトリエにて 14:00～
全席自由2,500円(当日3,000円)



Ensemble MARY's

■美術館の調べ

2月27日(土)
大西洋二郎 リサイタル
～ギターの愉しみ～
<演奏曲目> フランシスコ・タレガ「アランプラの思い出」/マヌエル・デ・ファリア「粉屋の踊り」/マウロ・ジュリアーニ「大序曲」/藤井敬吾「歌と踊りno.1」ほか
<出演者のひと言> ギターの色んな魅力をつめ込むべく選曲いたしました!お気軽にお楽しみください。
◎大西洋二郎(ギター)。大阪音楽大短期大学部卒業。同専攻科修了。関西にて後進の育成のほかソロ演奏やあらゆる楽器の伴奏者として活動
アトリエにて 14:00～ 無料



大西洋二郎